

釜山宣言

我々、水都 41 都市のリーダーは、2008 年 5 月 21 日から 22 日、韓国釜山広域市において「持続可能な水都に向けて」のテーマのもとに開催された「第 5 回国際水都会議」に参加した。市長および知事会合、ならびに専門家会議において、我々は人と自然の共生にむけた自然にやさしい都市環境の創造に関して活発な議論を行なった。

我々は広範なテーマに関する真剣な議論を通じて、「地球規模の環境変化と持続可能性の重要性」を認識した。また我々は、永続性のある都市、ならびに「持続可能な暮らし」にむけて、「環境と持続可能性の価値」を政策の中心に据えるための共同行動を取る努力が求められるとの共通の理解に至った。

こうした認識を踏まえ、我々は以下の結論に達した。

1. 我々は、持続可能な水環境、ならびに環境に配慮した緑の環境が、生物学的および文化的多様性の基盤としての役割を果たすことを認識する。加盟都市は、清潔かつ清浄な水、ならびに公共の利益を確保すべく、資源循環型の構造を持つ都市となるよう根本的な改善を図ることによって持続可能な都市開発モデルを追求していくことに合意する。
2. 加盟都市は、地球の環境汚染、地球温暖化、砂漠化、ならびに、これらの結果引き起こされる水不足や海水面の上昇によってもたらされる脅威と闘う必要がある。我々は、温室効果ガスの排出削減など喫緊の課題への対処、技術および政策的ノウハウの共有、ならびに人材の教育訓練における協力のための共同行動を市民が速やかに取ることを可能にする「都市間エコロジカル・ネットワーク」を設立すべく、共に尽力する。
3. 我々、参加都市は、健康的な生活の質が保証されるよう、「環境第一主義」に基づいて環境にやさしい水辺空間を創造、活用すべく最善を尽くす。
4. 水資源の効果的な管理を目指し、また密接な協力を確実にするため、参加都市は国際的な会議に積極的に参加し、協力する。

2008 年第 5 回国際水都会議参加都市代表者により署名

2008 年 5 月 22 日 韓国 釜山